

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H23.7.31現在)

	7月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成23年度(今年度)	4件	22件	0人	7人
平成22年度(昨年度)	10件	31件	0人	14人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

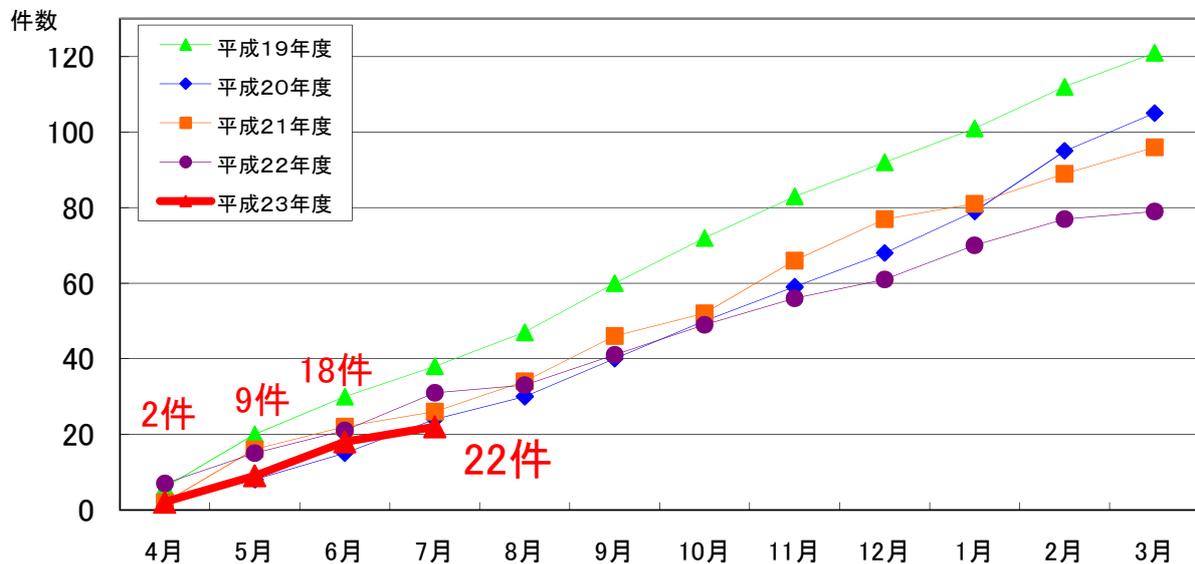
注2) 「7月発生件数」は、7/1～7/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～7/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～7/31の累計人数を示す。

注5) 平成23年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

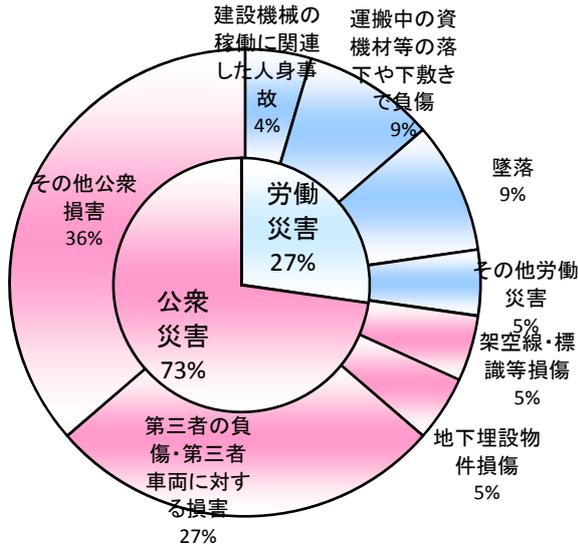
●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度 累計 (月毎)	6件 (6件)	20件 (14件)	30件 (10件)	38件 (8件)	47件 (9件)	60件 (13件)	72件 (12件)	83件 (11件)	92件 (9件)	101件 (9件)	112件 (11件)	121件 (9件)
平成20年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	79件 (11件)	95件 (16件)	105件 (10件)
平成21年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	22件 (4件)								

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

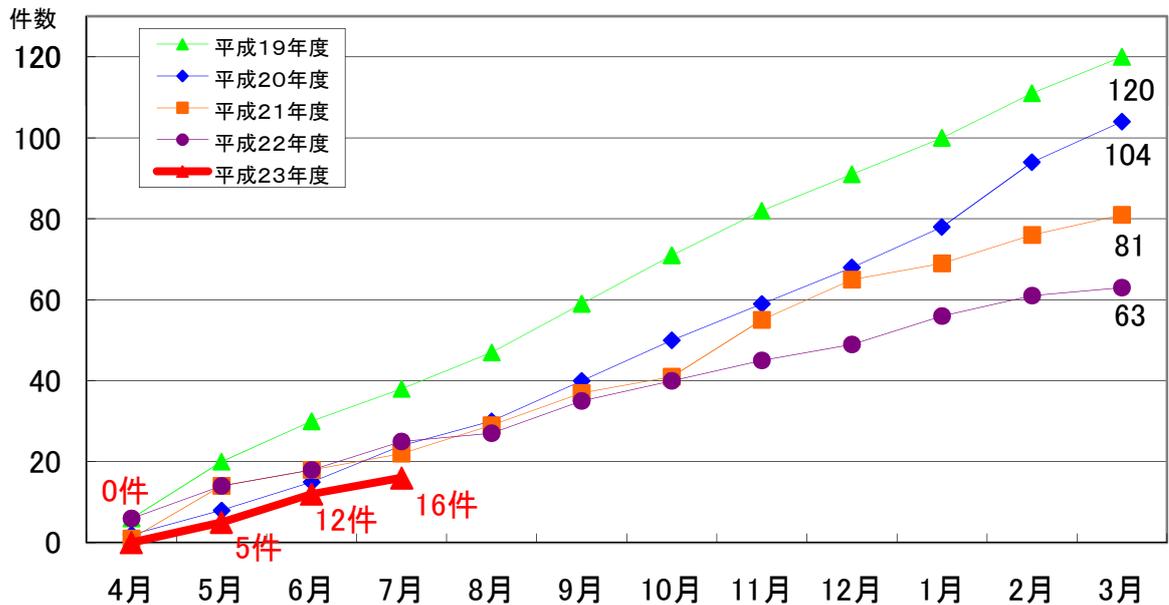
●平成23年度 工事事故発生状況(発生形態別)



	発生形態	H21	H22	H23	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	12	6	1	19
	部材の加工作業等により自らを負傷	5	4	0	9
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	5	2	2	9
	墜落	6	8	2	16
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	1	0	0	1
	その他労働災害	5	5	1	11
	小計	34	25	6	65
公衆損害	架空線・標識等損傷	20	14	1	35
	地下埋設物件損傷	7	6	1	14
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	11	13	6	30
	その他公衆損害	23	19	8	50
	小計	61	52	16	129
その他事故	1	2	0	3	
計	96	79	22	197	

 ..H23年度重点的安全対策項目

●「その他公衆損害」事故のうち、車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度 累計	6件	20件	30件	38件	47件	59件	71件	82件	91件	100件	111件	120件
(月毎)	(6件)	(14件)	(10件)	(8件)	(9件)	(12件)	(12件)	(11件)	(9件)	(9件)	(11件)	(9件)
平成20年度 累計	2件	8件	15件	24件	30件	40件	50件	59件	68件	78件	94件	104件
(月毎)	(2件)	(6件)	(7件)	(9件)	(6件)	(10件)	(10件)	(9件)	(9件)	(10件)	(16件)	(10件)
平成21年度 累計	1件	14件	18件	22件	29件	37件	41件	55件	65件	69件	76件	81件
(月毎)	(1件)	(13件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(4件)	(14件)	(10件)	(4件)	(7件)	(5件)
平成22年度 累計	6件	14件	18件	25件	27件	35件	40件	45件	49件	56件	61件	63件
(月毎)	(6件)	(8件)	(4件)	(7件)	(2件)	(8件)	(5件)	(5件)	(4件)	(7件)	(5件)	(2件)
平成23年度 累計	0件	5件	12件	16件								
(月毎)	(0件)	(5件)	(7件)	(4件)								

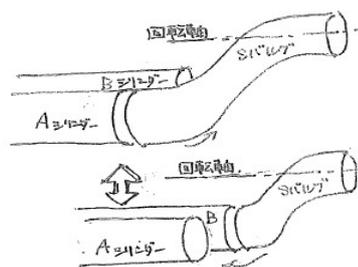
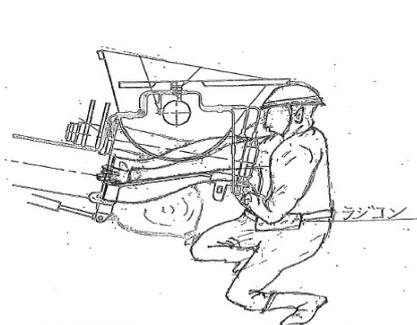
■問合せ先:企画部 技術調査課 田島・直海 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 23 年 7 月 6 日 (水) 11 時 30 分			天候	晴
工事情報	営繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	36	作業員	右第1指～第4指切断	
事故概要	コンクリートポンプ車のホッパー内に作業員が手をいれたところ、バルブが回転し、負傷したものの。				
工事関係者事故－建設機械の稼働に関連した人身事故					

事故発生状況

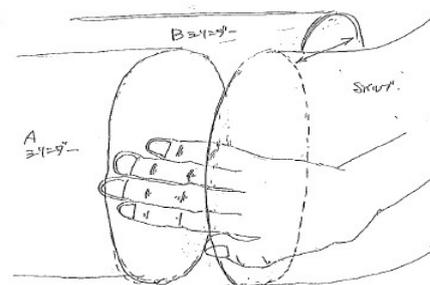


Sバルブ



Sバルブの動き

Aシリンダー、Bシリンダーのピストン運動に合わせて、Sバルブが切り替わる



挟まれ詳細図

Sバルブから手を差し入れ、Aシリンダー内のコンクリートを除去しようとしたところ、SバルブがBシリンダーに切り替わり、その際に右手第1指～4指、第二関節～付け根部分にて切断されてしまった

- ・作業手順書でSバルブ内に手を入れることを禁止されていた。
 - ・機械のリモコンは被災した作業員が持っていた。
- 何らかの原因でスイッチが入り、Sバルブが稼働し、指を挟んでしまった。

【事故発生原因】

- ・作業手順書で決められていた方法を守らず、バルブ内に手をいれたため。

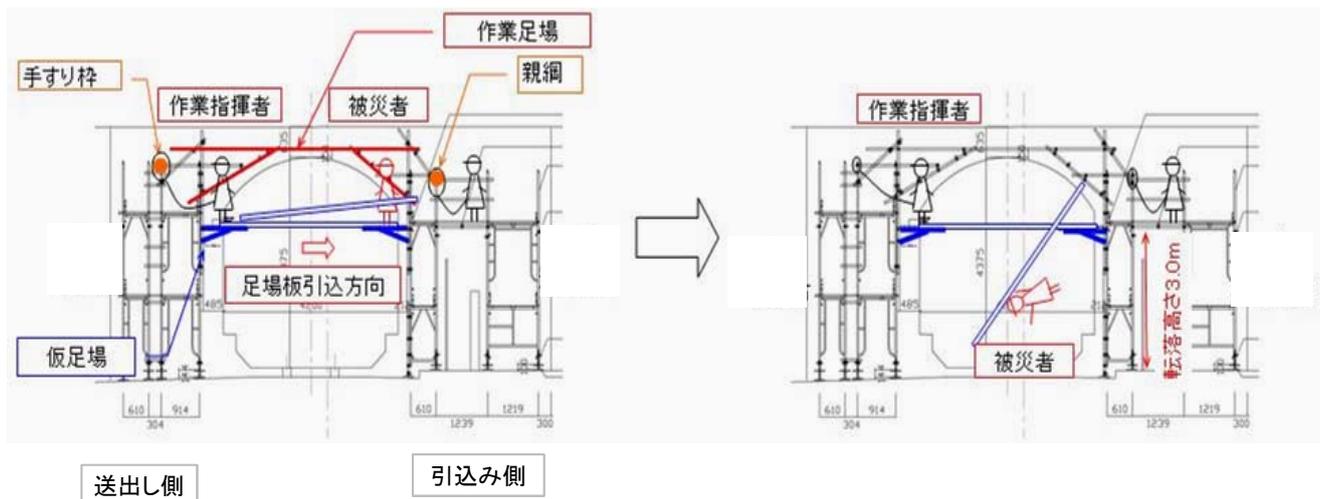
【事故防止のポイント】

- ・作業に応じた安全上の注意及び指示事項の周知・徹底をおこなう。

など

発生日時	平成 23 年 7 月 12 日 (火)			4 時 15 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	54	作業員	両手首骨折		
事故概要	作業足場設置用の仮足場の撤去時に作業員が転落、負傷したものを。					
						工事関係者事故一墜落

事故発生状況



現場状況

- ・天井足場を設置するための仮足場の撤去作業を行っていた。
- ・仮足場に使用した2枚重ねの足場板（鋼製、L=4m、W=25cm、重量15kg）のうち、上段の足場板を隣接する枠組足場側へ撤去していた。
- ・上段の足場板が下段の足場板とずれた影響で、送出し側の足場板が落下。
→引込み側の作業員がバランスを崩し墜落した。

【事故発生原因】

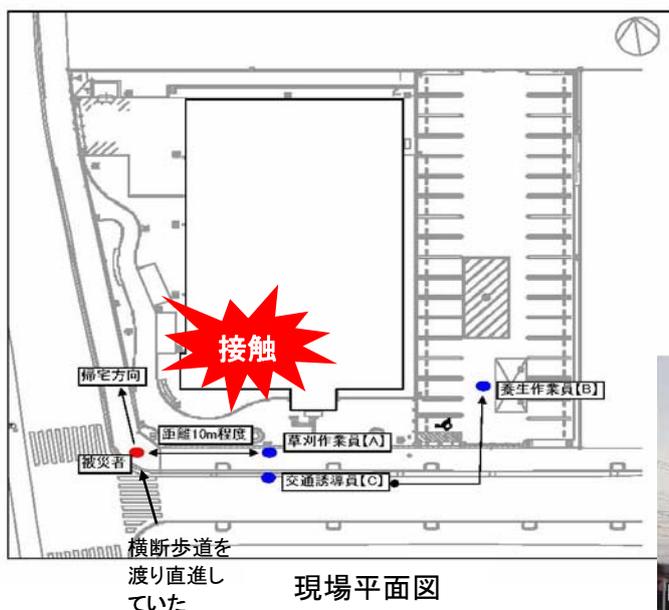
- ・安全帯を使用していなかったため。

【事故防止のポイント】

- ・安全帯使用の徹底
- ・作業手順について作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 23 年 7 月 23 日 (土) 15 時 30 分			天候	晴
工事情報	営繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	70	通行者	右手小指付根創傷	
事故概要	仮囲い周辺の除草作業をおこなっていたところ、飛石により通行者を負傷させたもの。				
公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況



- ・工事のイメージアップにおける現場の除草作業を肩掛式草刈機にて実施していた。
- ・養生作業員が現場を離れ、交通誘導員が飛石防止のベニヤ板を持っていた際に事故が発生。
→通行者を認識しておらず、第三者に対する注意が不足していた。

【事故発生原因】

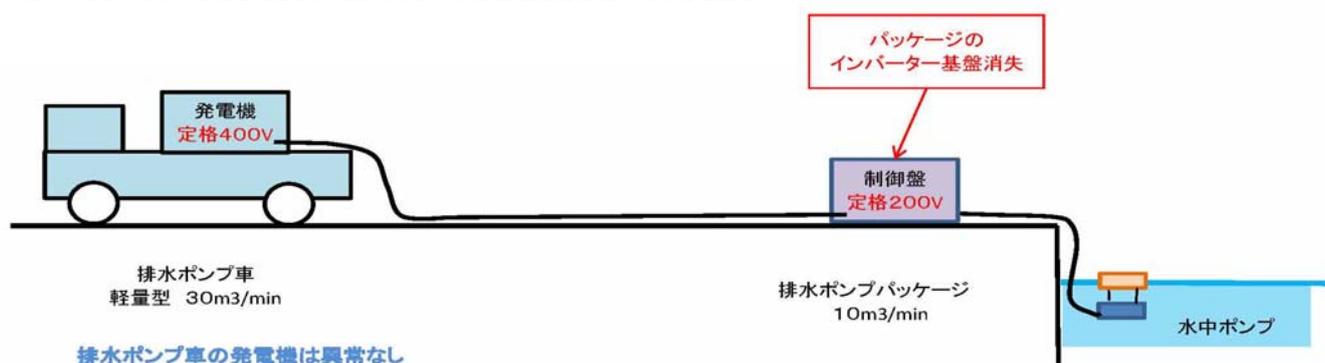
- ・除草作業における作業計画が作られておらず、第三者に対する飛石対策が不十分だったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・第三者に対する飛石対策を定め、作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 23 年 7 月 28 日 (木) 14 時 40 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	排水ポンプパッケージの制御盤のインバーター基盤消失	
事故概要	災害対策用機械の点検にて、排水ポンプパッケージの制御盤のインバーター基盤を消失させたもの。				
公衆損害事故—その他 公衆損害事故					

事故発生状況



- ・点検に使用した排水ポンプ車の発電機の定格電圧が、今回点検を行う排水ポンプパッケージ制御盤の定格電圧と差があったため、消失したもの。
- ・特記仕様書で定められていた発電機を用いていなかった。
- ・点検前に発電機の定格電圧を確認していなかった。

【事故発生原因】

- ・作業前に使用する機械の規格を確認していなかったため。

【事故防止のポイント】

- ・作業前に機械の規格を確認すること。
- ・決められた機器を使用すること。